

おまえざき

市議会だより

第36号

2013.7.8.9月

平成25年11月発行

1 9月議会定例会

2 委員会質疑

2 委員会報告

4 一般質問

5 議員視察研修



高松神社本殿

神社の由来は、大宝元年(701)、第42代文武天皇の願いにより、紀州の熊野三社の神々を移してお祀りしたと伝えられ、本殿は天明4年(1784)に再建されています。間口三間、奥行三間の総樫の入母屋造りで、千鳥破風がつけられており、棟には堅魚木を置き、両端を水平に切った千木を伸ばしています。本殿には、木鼻に12、臺股に12の価値のある装飾彫刻が施されています。建築部材の風食程度や各所を飾る細部意匠彫刻などを総合すると、まさしく江戸時代中期の建築と考えられます。平成19年9月25日に御前崎市指定有形文化財に指定されています。

9月議会定例会

平成24年度決算及び25年度補正予算が審議される

御前崎市議会9月議会定例会を、9月2日から10月2日まで31日間の会期で開催しました。条例関係2件、平成25年度一般会計予算の補正、介護保険特別会計予算の補正ほか2件、人事案件1件、平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定ほか13件について審議し、いずれも原案通り可決しました。

また、最終日には「地方税財源の充実確保を求める意見書」ほか1件を採択しました。なお、一般質問には8名が登壇して市長らの見解を質しました。

◎ 条例

「御前崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定」

公園の配置及び規模に関する技術的基準、並びに公園に公園施設として設けられる建築物の建築面積割合に関する基準を新設するもの。

「御前崎市あらかわふる里公園施設整備基金条例の制定」

あらかわふる里公園施設の整備を目的とした、寄附金の取り扱いを定めるもの。

◎ 人事

「御前崎市新野財産区管理委員の任命」

欠員となった新野財産区管理委員に鈴木利彦氏を選任することに同意したものの、

意見書2件を採択しました。

「地方税財源の充実確保を求める意見書」「重度障害者(児)医療費助成制度における精神障がい者の適用改善に関する意見書」

◎ 平成25年度一般会計・特別会計補正予算総括表

No.	区分	補正前の額	補正額	計
1	一般会計	153億7,000万円	2億1,703万円	155億8,703万円
2	介護保険	22億8,217万円	8,116万円	23億6,334万円
3	池新田財産区	4,134万円	125万円	4,259万円
4	池新田西財産区	1,690万円	750万円	2,440万円

*表の金額は、1万円未満を切り捨ててあるため、計が一致しない場合があります。

◎ 平成24年度一般会計・特別会計決算総括表

No.	区分	歳入	歳出	差引額
1	一般会計	173億2,355万円	164億1,541万円	9億814万円
2	国民健康保険	40億3,497万円	37億3,767万円	2億9,729万円
3	後期高齢者医療保険	2億7,442万円	2億6,691万円	750万円
4	介護保険	23億5,785万円	22億7,684万円	8,100万円
5	農業集落排水	3億2,573万円	3億1,840万円	732万円
6	下水道	6億2,706万円	6億494万円	2,211万円
7	工業団地建設	5万円	0万円	5万円
8	池新田財産区	8,088万円	6,000万円	2,088万円
9	池新田西財産区	3,626万円	374万円	3,251万円
10	佐倉財産区	2,830万円	392万円	2,437万円
11	比木財産区	225万円	57万円	168万円
12	新野財産区	99万円	23万円	75万円

*表の金額は、1万円未満を切り捨ててあるため、差引額が一致しない場合があります。

◎ 平成24年度企業会計決算総括表

No.	区分	歳入	歳出	差引額
1	水道事業	9億5,747万円	9億4,654万円	1,092万円
	資本的収支	550万円	9億6,274万円	△9億5,723万円
2	病院事業	43億4,861万円	43億9,153万円	△4,292万円
	資本的収支	7,400万円	2億9,591万円	△2億2,191万円

*表の金額は、1万円未満を切り捨ててあるため、差引額が一致しない場合があります。
*支出に不足する額は、過年度損益勘定留保資金及び当年度消費税資本的収支調整額で補てんしました。

委員会質疑

総務経済委員会

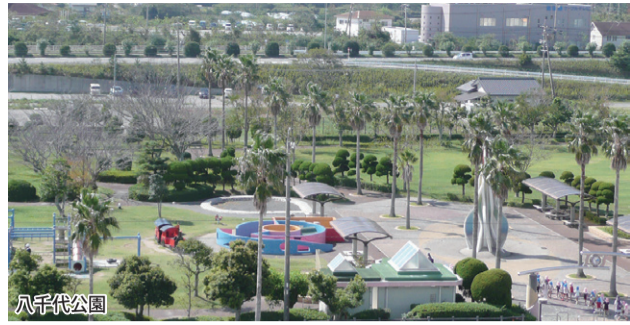
【都市公園について】

問 都市公園の面積が規定されているが、その面積と既存する公園の面積との対比は

答 都市公園の面積目標値は市民一人当たり10㎡です。旧浜岡町の浜岡総合公園、長者坪公園、八千代公園を合わせて3.4㎡、旧御前崎町の御前崎中央公園が6.7㎡です。

問 今後、基準に合わせていくのか

答 既存の公園を基準に合わせて拡大・変更することは考えておりません。



【あらせわふる里公園について】

問 あらせわふる里公園施設整備基金条例について、基金の額を具体的に定めているが、あらせわふる里公園の整備のための

新たな寄附を受けた場合にどのように対応するのか

答 新たな寄附があった場合は、条例を変えなければならないと考えております。

問 基金を使う目的は具体的に決まっているのか

答 現時点では具体的に決まっております。寄附をされた方の遺志を尊重し、整備をしていく必要があるかと考えております。

【工業団地について】

問 池新田工業団地への工場誘致の状況はどうか

答 池新田工業団地については、誘致の話はありません。しかし、御前崎港内に立地したいという話が1件あります。

問 担当部署では企業立地の概念をどう考えているのか

答 1社でも企業誘致が成功すれば、地元の雇用が生まれ、固定資産税なども発生してきますので、まず1社を目標に検討を重ねるところです。

問 企業誘致の優遇措置はあるのか

答 企業進出の場合、固定資産の優遇措置と電気料金の給付制度の補助などがあります。

企業誘致のオーダーメイド方式を見直す考えは

答 オーダーメイド方式は、進出企業と一緒に造っていくものと認識しています。見直しの検討、用地整備を行う必要はあると思います。

問 津波対策で堤防の嵩上げを行っているが、完成後は、池新田工業団地周辺は浸水しないのか

答 浸水区域は減りますというだけではありません。

【委員間での討議】

御前崎市工業団地建設事業特別会計歳入歳出決算の認定について

東京オリンピックの開催が決まり、社会情勢も好転しつつあります。各企業の動きも活発となること予想されます。御前崎市への企業立地を進めるために戦略的な誘致施策を行う必要があることから、次のような意見が出されました。

- ・既存の工業団地にこだわらず、市内で新たな場所を選定しながら考える。
- ・オーダーメイド方式だけでなく、造成済みの工業用地も必要である。
- ・現行の優遇措置以上に、企業ニーズに応える、優遇措置を検討する。

文教厚生委員会

【介護保険料について】

問 介護保険特別会計予算の補正について、支払基金交付金返還金が前年度と比較して増加した要因は

答 国県に交付金申請をする際に、介護給付費の支払いが不足しないように、多めに試算した結果です。

問 介護保険料の収入未済額が70万円ほど増えているが、口座振替にもかかわらずなぜ未済額が生じるのか

答 65歳になると第一号被保険者になり、年金から天引きとなりますが、年金基金の手続きに一定期間を要することから、その期間分を現金納付していただくことになり、未納が生じています。

【公共下水について】

問 終末処理場などの処理能力は

答 池新田浄化センターの場合は、平均日量で3,500トン程度入っており、最大では5,800トンまで処理されます。なお、隣接する東遠広域施設と合わせると処理能力は5千〜7千トンになります。

問 病院事業会計決算について、流動資産の未収金8億3,497万円余の内、医療費の未収分は

答 平成25年3月末現在未収件数は534件、金額にして1,660万7千円程度です。

問 4月以降の医師の数は

答 9月1日現在の常勤医師数は、病院が13名、総合保健福祉センターが2名です。

問 入院患者数の前年対比は、内科77.2%、外科71.8%、外来患者数は、内科78.3%、外科は80.4%になっている。医師不足が原因か

答 非常に厳しい状態が続いております。平成24年度途中に3名の内科医師が退職。入院、外来とも患者数の減少を予想しておりましたが、他の医師の頑張りとリハビリ患者数の伸びなどを合わせて持ちこたえることができました。

【委員間での討議】

環境下水道課について
公共下水道終末処理場及び農業集落排水終末処理場は、大規模な地震によって、二次災害である汚泥の飛散や施設が長期にわたり稼働できなくなることが予想される。そのため、災害時におけるインフラ施設の重要性を考え、市に積極的な保全対策をすよう求める。

【病院について】

医師不足、入院患者の減少、市民ニーズのある診療科目がなくなるなど、厳しい状況が今後も予想されるため、病院経営には危機感を持ち、更なる施策展開をすよう求める。

委員会報告

一般会計予算審査特別委員会

平成25年9月19日・20日・24日・26日の4日間にわたり、付託された2議案について審議をしました。委員間討議の結果、左記のような意見が出されましたので、市長に報告しました。

1 平成25年度御前崎市一般会計予算の補正(第2号)について

【農林水産課】
福田沢農村公園(比木)の年度内事業完成を求めます。

【都市建設課】
PAZ設定に伴い、国道150号をはじめとする主要道路の早期整備促進を求めます。

【教育総務課】
給食費の未納について、早期に解決を図ることを求めます。

【学校教育課】
灯台村塾継続の再考を求めます。

【社会教育課】
振興公社は、公序良俗に反しない、委託経営を行うよう求める。

【市民課】

2 平成24年度御前崎市一般会計歳入歳出決算の認定について

【財政課】
倉庫に保管されている文化財及び近世代の生活様式を伝える資料の公開展示の検討を求めます。

【秘書政策課】
国際交流事業において、



福田沢農村公園

外部委託している窓口業務は、市民からの評価も高く、成果が上がっている。市民課以外の分野でも外部委託の可能性の検討を求めます。

【国保健康課】
各種健診の受診率の向上に、新たな方策の検討を求めます。

議会改革特別委員会

平成25年9月26日に委員会を開催しました。
前日に引き続き、各市町議会の「反問権」の定義について資料精査をし、一問一答制の中での反問権について討議をしました。
市長らの答弁者側が議長又は委員長の許可を得た中で、質問者に対して「質問の趣旨の確認」や「考え方の問い返し」、「対策の提示」

行財政改革特別委員会

平成25年9月26日開催の委員会では、保育園の民営化について調査・研究を行いました。

- 1 近隣市（島田市・掛川市大東地区）の公立及び民間保育園の視察研修を行った結果と本市の保育園と比較し、運営面・費用面・職員の身分などのメリット、デメリットについて、再度協議を行いました。
- 2 現在、保育園の所管が教育委員会ですが、子育て支援は福祉行政である

総合開発計画策定特別委員会

平成25年9月25日に委員会を開催しました。
内容は次のとおりです。

後期基本計画の平成24年度目標達成状況について

御前崎市の総合計画は、平成18年から平成27年までの10ヶ年を第一次御前崎市総合計画とし、各種施策や事業を実施することとなっています。その中で、平成23年度から27年度までを後期基本計画と位置付け、平成24年から年度ごと及び各事業ごとに評価をして、市のホームページで公表しています。平成24年度の評価結果については167事業あり、その目標達成率は84事業で52%でした。これらの結果について議論し、今後の改善に向けて実施計画へ反映させていくこととしました。

事業達成状況一覧表（一部抜粋）

事業指標名	目標値	実績値
学校が楽しいと思っている児童生徒の割合	88%	94%
不登校児童生徒の出現率	1.3%	0.9%
公民館の利用者数	194,000人	195,905人
生活保護相談件数	80件	96件
各種ガン検診受診率	40%	27%
町内会加入率	66%	65%
耕作放棄地解消面積（累計）	32ha	74ha
公害苦情件数	23件	26件
市民1人1日当たりゴミ排出量	1,085g/人・日	970g/人・日
水道管耐震化率	54%	51.5%
市役所窓口サービス満足度	65%	73%

原子力対策特別委員会

平成25年9月25日開催の委員会では、浜岡原子力規制事務所及び中部電力株式会社から次のような報告がありました。

○浜岡原子力規制事務所

原子力発電所3、4、5号機の検査結果について、緊急安全対策、保安管理体制、保安区域管理の状況などの抜き打ち検査を実施した結果、いずれも違反となる事項はありませんでした。

○中部電力株式会社

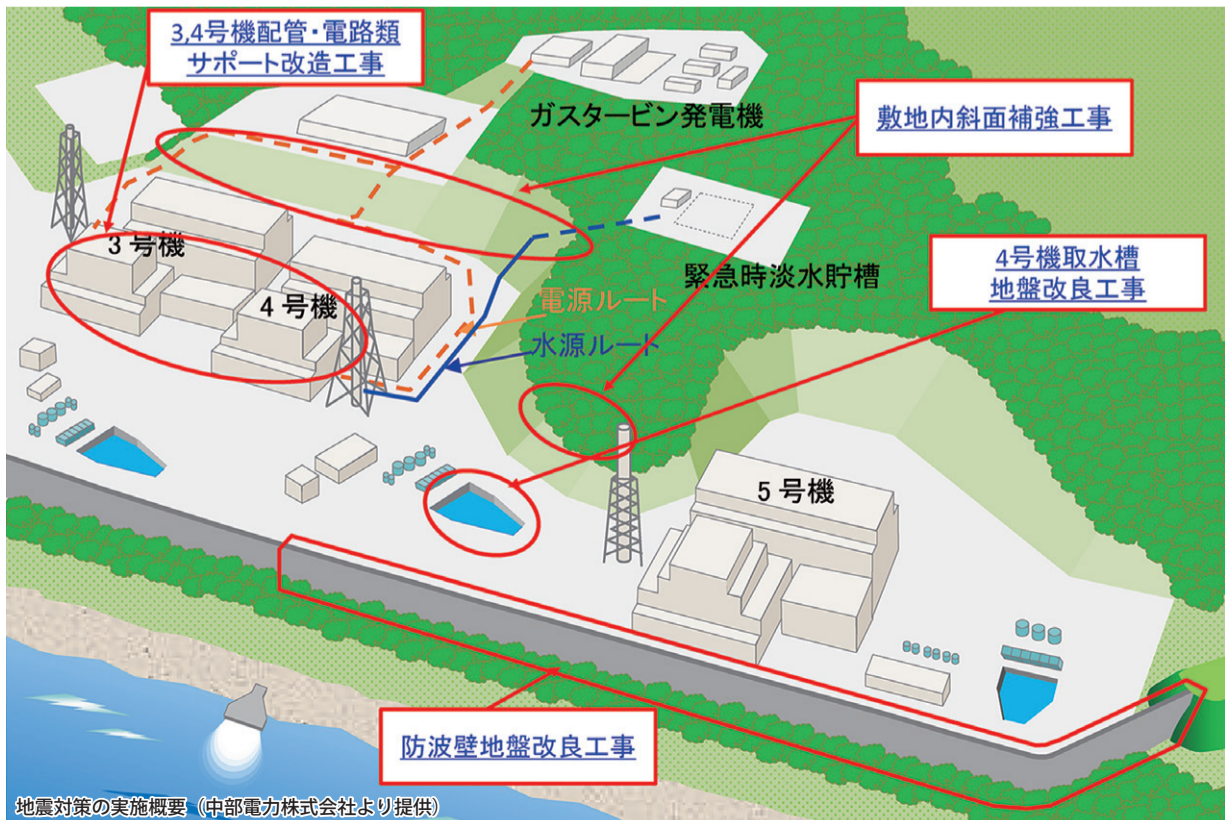
内閣府による南海トラフの巨大地震への対応については、津波対策工事を始め、過酷事故に対するベントフィルターなどの工事を実施しておりますが、7月に施行された原子力規制委員会の新規規制基準に適合するため、さらに追加対策工事を実施していく予定です。

3、4号機の地震動最大1千ガルを1、

200ガルとする対策については、配管類、電送路などのサポート（支持金具）の補強を行い、駿河湾沖地震で増幅が見られた5号機においては、1、900ガルを2千ガルに設定する対策として、新設した5号機前面の防波壁の基礎周囲を深さ6mから9m掘り起こし、セメント材で地盤改良を行う予定です。また、4号機の海水取水槽の周囲についても、土を取り出し、セメント材で改良する予定です。その他、敷地内山側斜面の補強工事を実施し、4号機が平成27年9月末、3号機は平成28年の9月の完工を目標に追加工事を行っています。

これらの追加対策工事を実施することを踏まえて、出来るだけ早い時期に新規規制基準への適合性に係る申請が出来るように準備を進めていきたいと考えております。

今後、原子力対策特別委員会としても現場視察などを定期的に実施し、状況把握に努めてまいります。



地震対策の実施概要（中部電力株式会社より提供）

要 請 書

中部電力株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 水野 明久 殿

平成25年10月2日

静岡県御前崎市議会 議長 西島 昌和
同 原子力対策特別委員会 委員長 柳澤 重夫

平成23年5月6日の国による要請により、浜岡原子力発電所の全面停止後2年余りが経過した。この間、内閣府による南海トラフ地震被害想定が昨年9月に公表され、これにより当初の安全対策工事完了は、平成25年12月末であったが、追加対策により、平成26年度末に延期された。さらにこのたび、平成25年7月に施行された新規規制基準に対応すべく、追加対策と工期延長が、本年9月に再度示され、4号機は平成27年9月、3号機はさらに1年後となった。国のエネルギー政策に全面的に協力し、貴社と共生してきた御前崎市として、安全対策工事の早期完成を強く求めます。

また、市として、平成23年5月19日に引き続き、再度貴社に対して、原子力発電所の安心・安全対策及び、雇用・景気対策を下記事項のとおり要請します。

記

【安心・安全対策】

- 1 国の新規規制基準を踏まえた、追加対策の目途がつきしだい、速やかに国へ安全審査の申請を行うよう求める。
- 2 遅延している使用済み燃料の乾式貯蔵施設設置計画を、早急に進めること。

【雇用・景気対策】

- 1 内閣府の南海トラフ地震被害想定や運転停止を起因とし、疲弊しつつある市内経済に配慮して、更なる雇用と経済の振興に協力を求める。

一般質問

8名が登壇 市政を問う
*この一般質問は9月12日と13日に行なわれたものです。

御前崎市の教育行政について



杉浦謙二

問 御前崎市の教育行政をどのように推進する

か

答 御前崎市総合計画の後期基本計画に基づき、「海と緑と笑顔がきらり輝く御前崎」に向かって、生涯を通じた学習で、さらに輝く賢い人づくりを推進していきます。

教育の土台となるべき家庭、集団の中で教育を推進

助産師との災害協定について オフサイトセンターについて



曾根正浩

問 災害時を考えた助産師との災害協定は考えられないか

答 妊産婦の健康や栄養管理、新生児の健康産師の支援をいただけることは、大きな安心につながると考えますので、助産所などの協定につきましては、前向きに検討していきたいと考えております。

問 土曜授業についての考えは

答 文部科学省が「土曜授業」を立ち上げ検討しています。その結果を受け、市の対応を検討していきたいと考えております。

未来を語る会」を開催していきます。現在、市内中学校長と「学校教育を語る会」を、保育園・幼稚園長と「幼児教育を語る会」を開催し、各教育における現状と課題を洗い出しました。今後は、社会教育に携わる市民や市長と語る移動教育委員会を計画しております。さらに、教師や保護者などの移動教育委員会を開催し、ゆくゆくは子供たちと語る会も計画しようと考えております。

問 御前崎港へのエネルギー（石炭、風力、太陽光、LNGなど）の基地設置導入の考えは

答 石炭輸入については、港のスペースの問題があります。県知事の火力発電設備設置発言は、私の回答範囲ではありませんが、県がモンゴル国との協定締結の中で交流促進を図っているものと認識しております。

御前崎港のエネルギー基地 構想及び活性化について



松下久己

サスを第一に、県などに対し説明を求めてまいります。

問 米国の「シェールガス」輸入に伴う基地構想の「LNG基地」

答 次世代の貴重なエネルギー資源であり、注目すべきものと認識しております。需要に応じて必要であれば、県と協議してまいります。

問 県が計画している洋上風力発電設備を御前崎港沖に設置することに、市長の見解は

答 計画エリアが港湾内のため、漁業活動などに支障がないように、影響を考慮しなくてはなりません。関係者とのコンセン

問 「メタンハイドレート」の開発施設設置の誘致の考えは

答 港のスペースの問題もありますが、今後とも国策への協力という姿勢は変わりません。

農業の振興と諸問題の対応について



岡村 勝

問 農業生産基盤整備と農地の保全に、どのように取り組んでいくのか

答 生産効率を高め、競争力ある農業を実現するためには、農地の大区画化や機械の汎用化などにより農業の担い手への農地や生産設備の集積を加速するなど、農業の基盤整備を推進することが不可欠でありますので、地域の皆様と一緒に考え、国や県の制度

富士山を活用した今後の観光 行政及び原発事故避難計画策定について



齋藤 洋

問 富士山を活用した今後の観光行政及び避難兼展望タワーの設置について

答 後期基本計画重点取組項目「新たな観光資源を発掘し地域振興を推進する」の中で、世界文化遺産となった富士山が見えることは、新たな観光資源

源であるところを、求められる新しい観光スタイルやニーズの変化に対応していきたいと考えています。

現時点において、なごら市場敷地内への津波避難タワーの建設計画はございません。富士山の景観を楽しむためにマリナーパーク御前崎「港の見える丘」へ展望スペースを設けることやなごら館4階展望室の有効活用を図っていききたいと考えています。

交差点名標識について 小学校陸上大会復活について



阿形 昭

問 車を運転する人や市外の人にとって、わかりやすい御前崎市にするために、市道交差点の信号機に交差点名標識を設置できないか

答 県の公安委員会と、信号機を設置管理する警察署との協議が必要ですが、許可が得られれば、道路設置者である市が設置することは可能です。

近で事故や事件などに遭遇した場合でも、警察署や消防署へ通報する目印となり、交差点名標識の設置は有効と考えております。

わかりやすい名称の標識を効果的に設置することにより、交通事故の減少につながるよう調査・研究を進めていきたいと考えております。

問 陸上大会中止の影響について検証し、復活するか否か市校長会で検討しているが、保護者の意見を聞く必要はないか

答 校長会での検証作業見も聞くと考えています。多岐から検証し、今年度中に結果を出すというところで、教育委員会としては、その判断を尊重したいと思っております。



防災キャンプ



問 オフサイトセンターの活用を考えているか。また、年間の維持費の見込みは

答 事務手続きを進めていくところであり、活用計画を申し上げる状況に至っていないと考えます。年間維持費については、平成24年度の実績で約1、100万円との県の回答です。

今後の原子力行政全般について
「はだしのゲン」について
生活保護基準の引き下げについて



清水澄夫

問 今後の原子力行政をどう考えるか

答 市民に放射線や原子力の正確な情報を周知すること、津波対策工事の点検と安全協定に基づいた発電所周辺の環境放射能の測定などを続けることを中心に、住民の安全と福祉の向上、地域発展に資するため、地道に努力を重ねていく必要があると考えております。

問 今後示されていく国のエネルギー基本計画や原子力政策の動向をしっかりと見きわめていきたく考えております。

答 ヨウ素剤の事前配布の考えは

問 配布目的や予防効果、副作用などについて、医師による住民説明会を開催する体制の構築が必要となります。備蓄場所については、関係機関と調整を図りながら検討してまいります。

答 現時点では影響は出ておりません。出てきた場合、国の基準に沿って対応していきたいと思っております。

問 生活保護基準引き下げによる影響は。また、その対応策は

答 戦時下の戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える最高の資料だが、教育長、教育部長の考えは

問 「はだしのゲン」は戦争、原爆の恐ろしさや平和の尊さを伝える最高の資料だが、教育長、教育部長の考えは

平成25年度市民満足度調査結果について



後藤憲志

問 悪臭対策について

答 臭気指数15の規制基準の見直しは考えておりません。公害苦情には直ちに現場に向き、現地状況把握するなど行政の素早い対応が苦情解決の早道と考えます。今後、粘り強く問題解決に向け努力してまいります。

問 フッ素洗口について

答 現在乳幼児には半年ごとに「フッ素塗布」、保護者の同意を得た園児には給食後に「フッ素洗口」を実施しています。その効果は、虫歯のある子供の率が2分の1、平均虫

問 放課後児童クラブの開設時間と利用拡大について

答 放課後児童クラブの対象学年を小学校6年生まで拡大する新しい支援制度が、早ければ平成27年度から始まります。本年度保護者への希望調査を実施し、開設時間及び利用見込み数を取りまとめる予定であり、その意向を参考に今後の受け入れ態勢の検討をしていきたいと考えています。

問 歯本数は約3分の1に減少しています。なお、実施時期は、4歳から14歳が特に有効とされています。学校教育の現状の中で新たな事業展開は困難といたしますが、協議・検討をしていきたいと考えています。

問 歯本数は約3分の1に減少しています。なお、実施時期は、4歳から14歳が特に有効とされています。学校教育の現状の中で新たな事業展開は困難といたしますが、協議・検討をしていきたいと考えています。

問 歯本数は約3分の1に減少しています。なお、実施時期は、4歳から14歳が特に有効とされています。学校教育の現状の中で新たな事業展開は困難といたしますが、協議・検討をしていきたいと考えています。



議員視察研修

総務経済委員会

視察先及び視察内容 (平成25年7月16日～17日)
○観音埼公園 観音埼灯台・灯台資料展示室 (神奈川県横須賀市)
・灯台周辺整備事業の取り組み状況調査



観音埼灯台



観音埼公園

○犬吠埼灯台・灯台資料展示室 (千葉県銚子市)
・灯台を活かした観光事業への取り組み調査



犬吠埼灯台と周辺施設



会議風景

視察先及び視察内容 (平成25年8月27日)
○道の駅八王子滝山 (東京都八王子市)
・(株)ウエイザ(市農業振興拠点施設指定管理者の最優先交渉権者)が現在指定管理者となっている道の駅八王子滝山の運営状況調査



道の駅八王子滝山



運営状況の説明を受ける委員

文教厚生委員会

視察先及び視察内容 (平成25年7月9日)
○文教厚生委員会の所管に属する教育施設のうち、小学校2校、中学校2校を訪問し、授業風景の参観及び校長と意見交換を行いました。



第一小学校



第一小学校での意見交換



御前崎小学校



浜岡中学校



御前崎中学校での意見交換



御前崎中学校

原子力対策特別委員会

視察先及び視察内容 (平成25年7月1日～3日)

- 北海道電力(株)泊原子力発電所(北海道古宇郡泊村)
- ・東日本大震災以降の発電所の状況調査



展望室

○泊村役場 泊村議会(北海道古宇郡泊村)

- ・原子力発電所に関する意見交換



泊村議会会議室

○北海道電力(株) 苫東厚真発電所(石炭火力)
(北海道勇払郡厚真町)

- ・東日本大震災以降の発電所の状況調査



タービン建屋

12月定例会の予定

12月定例会は12月2日(月)から12月26日(木)までの25日間の会期で開催される予定です。日程は変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(電話 85-1115)までお問い合わせください。

- | | | |
|-----|--------|-----------------|
| 12月 | 2日(月) | 本会議(議案説明) |
| | 12日(木) | 本会議(質疑・一般質問) |
| | 13日(金) | 本会議(一般質問) |
| | 16日(月) | 総務経済委員会・文教厚生委員会 |
| | 17日(火) | 特別委員会 |
| | 19日(木) | 特別委員会 |
| | 26日(木) | 本会議(質疑・討論・採決) |

議会を傍聴しませんか?

- 市議会はどなたでも傍聴することができます。
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。

◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧いただけます!!

本会議の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル121チャンネルとアナログ6チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

市民の皆様の声をお寄せください

議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。郵送・ファックス・Eメールで受付します。

- ◇住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◇お便りの返却はいたしません。

御前崎市議会 議会広報特別委員会

あて先

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585
TEL: 0537-85-1115 / FAX: 0537-85-1139
E-mail: gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp

訂正とお詫び

議会だより第35号1ページに掲載の固定資産評価審査委員会委員山本隆章氏のふりがなの記載に誤りがありましたので、訂正とお詫びを申し上げます。

誤 やまもと たかあき
正 やまもと たかゆき



政治家の年賀状は禁止されています

政治家(候補者・候補者となろうとする者・現に公職にある者)は、公職選挙法により選挙区内の人に対してあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことが禁止されています。皆様のご理解をお願いいたします。

お歳暮やお年賀	入学祝・卒業祝	病気見舞い	秘書長が代理で出席する場合の結婚祝
秘書長が代理で出席する場合の葬式の香典	葬式の花輪・供花	落成式・開店祝の花輪	町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
お祭りへの寄附や差入	地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入	贈らない! 求めない! 受け取らない!	

編集	曾根正浩
議会	副委員長 松下久己
特別	阿形 昭
委員会	齋藤 洋
	事務局 栗林清和

月	日	内容
7月	1日	原子力対策特別委員会視察研修(～3日まで)
	4日	中東遠地区市議会議長協議会
	8日	全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会・定期総会
	9日	文教厚生委員会学校訪問(第一小・御前崎小・浜岡中・御前崎中)
	11日	議会広報特別委員会
	12日	志太様原五市二町議会議長連絡協議会
	16日	総務経済委員会視察研修(～17日)
	19日	議会全員協議会
	24日	議会広報特別委員会
	25日	静岡県後期高齢者医療広域連合議会定例会
8月	7日	小笠老人ホーム施設組合議会全員協議会・定例会
	8日	全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会
	9日	静岡県原子力発電所環境安全等対策協議会
	9日	東遠工業用水道企業団議会全員協議会・定例会
	12日	東遠学園組合議会定例会
	19日	東遠広域施設組合議会定例会
	20日	議会全員協議会
	21日	相寿園管理組合臨時議会
	22日	総務経済委員会視察研修
	27日	浜岡原子力発電所対策協議会福島視察研修(～29日)
9月	2日	9月議会定例会本会議(初日)
	2日	議会運営委員会
	2日	9月議会定例会本会議(一般質問)
	13日	9月議会定例会本会議(一般質問)
	17日	総務経済委員会
	18日	文教厚生委員会
	19日	一般会計予算決算審査特別委員会
	19日	一般会計予算決算審査特別委員会
	20日	一般会計予算決算審査特別委員会
	24日	一般会計予算決算審査特別委員会
10月	25日	総合開発計画策定特別委員会
	25日	原子力対策特別委員会
	26日	議会改革特別委員会
	26日	一般会計予算決算審査特別委員会
	27日	行財政改革特別委員会
	30日	御前崎市牧之原市学校組合議会定例会
	30日	議会運営委員会
	1日	相寿園管理組合議会定例会
	1日	牧之原市御前崎市広域施設組合議会定例会
	2日	9月議会定例会本会議(最終日)